

食べ物・・・それこそ命がけ!?

大津港の加工屋さんの店先で・・・
「餃子を食べるのも命がけですもんねえ」という話が出されました。「しかも生協から買ったものでねえ」という驚きの声も。

生協といえば、私(すずき)は以前、強い薬品臭の魚が届き、返品して調査報告も求めましたが、「異常は認められませんでした」という対応

で片づけられちゃったっけ。そんな経験があったので、もともと過信はしていませんが、それにしても、ミートホープ事件といい、生協への不信は大きくなるばかりです。

やっぱり食べ物は、自分で作るか、せめて顔の見えるところから手に入れるしかないよねえ・・・と、うすうす誰もが感じてるのではないでしょ

うか。しかし、足もと生産現場はといえば、農業については先週号でお伝えしたとおりの危機的な状況。

他からの切り貼りつづきで恐縮ですが、今週は県北農民センターの総会資料の一節を転載しておきます。あまり接することのない数字かと思うので参考までに。

もう一つの転載は、「朝日新聞」の茨城版から。“生産調整の目標を達成するよう「あらゆる努力を講じる」などとする合意書に調印した”とあります。農業関係の団体が、今まで以上に異常な力を注いで田んぼをつぶそうっていうのか。♪クタバッチマエ・・・あーめん♪

①生産の減少と農家の危機

農水省の発表によると、2006年の全国の農業総産出額は8兆2900億円で、前年に比べて2.6%減少。とくに米については6.8%も減少しています。これは「生産量が減少したことに加え、価格が低下したことによる」と農水省自身が分析しています。WTOが発足した1995年から比べると、農業総産出額は21%も減少し、米については実に43%も減少しています。

茨城の2005年の農業産出額は4162億円で、北海道・鹿児島県につぐ全国3位¹⁾、農業生産所得は1884億円で北海道につぐ全国2位です。1995年に比べ、農業産出額は11%減少し

(米は31%減少)、生産所得は22%下落しています。

総農家数11万5千戸(18%減)、販売農家数8万5千戸(27%減)、農業就業人口(販売農家)は14万2千人(26%減)と軒並み激減しています。

07年は豊作でもないのに米価が下がりました。コメ価格センターの入札価格は、茨城コシヒカリA地区確認米で、1俵1万4411円と、昨年より1300円も下落しています。米価下落は自然現象ではありません。政府が米流通の責任を投げ出して市場原理に任せ、米価下落対策を充分に行なわないばかりか、備蓄米を主食用に放出するなど、むしろ米価下落の原因を自ら作ってきました。毎年77万トンも輸入している外米がどこに流れているのかは政府が隠してい

るため不明ですが、一部は主食用に使われており、米価を引き下げる原因の一つになっています。

他方、ガソリンに替えてトウモロコシなどから作ったバイオ・エタノールが使われるようになり、穀物輸出国の禁輸措置ともあいまって、国際穀物相場が高騰しています。一方で原油も値上がりしており、ガソリンなどの燃料費はもちろん、資材費も値上がりし、食料品などの生活費にも大きく影響しています。

飼料価格はトンあたり6千円から1万円も値上がりし²⁾、多くの畜産農家が経営の危機に瀕しています。

- 1) 農業産出額は2006年、茨城県は3988億円で4.2%減少。全国4位に。
- 2) 配合飼料の1t当たりの価格は、06年10月の4万2600円/tから、08年3月には5万8100円に1万5500円も上昇。

コメ生産調整
合意書に調印
JA茨城中央会など
JA茨城県中央会や関
東農政局など農業関係の
12団体が29日、08年産米
の生産調整の目標を達成
するよう「あらゆる措置
を講じる」などとする合
意書に調印した。07年産
米の過剰作付けが全国3
位の7600万tだったた
めで、生産調整のため
の合意書の締結は今回が初
めて。
生産目標値は過去の販
売実績と、減反の達成具
合から算定され、昨年末
に農水省が発表した08年
産米の目標値は、作付面
積で07年比約1千ha減の
6万8390ha、生産量
で同5千t減の35万56
30tと厳しい目標が課
された。